

平成26年度病害虫発生予報第5号

平成26年8月1日
愛知県

普通作物

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
イネ	いもち病 (穂いもち)	少ない	県全域	7月下旬の葉いもちの発生量は少ない 穂いもち抵抗性品種の作付けが多い	— —
	紋枯病	平年並	県全域	7月下旬の発生量は平年並 8月の降水量は平年並	± ±
	白葉枯病	平年並	県全域	7月下旬の発生量は平年並	±
	もみ枯細菌病	平年並	県全域	7月下旬の発生量は平年並 8月の降水量は平年並	± ±
	ニカメイガ	やや多い	県全域	7月下旬の発生量はやや多い 予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	++ +
	セジロウンカ	少ない	県全域	7月下旬の発生量は少ない 予察灯における誘殺数はやや少ない	— —
	トビイロウンカ	平年並	県全域	7月下旬現在、本田では発生を確認していない(平年並)	±
	ツマグロヨコバイ	やや少ない	県全域	7月下旬の発生量はやや少ない 予察灯における誘殺数は一部を除きやや少ない	— —
	斑点米カメムシ類	やや多い	県全域	7月下旬の発生量はやや多い 予察灯における誘殺数はやや多い	++ +
	イチモンジセセリ(イネツトムシ)	平年並	県全域	7月下旬の被害株率は平年並	±
	フタオビコヤガ(イネアオムシ)	やや少ない	県全域	7月下旬の被害株率はやや低い 予察灯における誘殺数は一部を除きやや少ない	— —
コブノメイガ	やや少ない	県全域	7月下旬の被害株率はやや低い	—	
ダイズ	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	—

・防除対策

〔イネ・ニカメイガ〕

早植栽培及び普通期栽培では、茎の太い品種で発生が多い傾向があるので留意し、パダン粒剤4、ダントツ粒剤、スタークル／アルバリン粒剤などで防除しましょう。

〔イネ・斑点米カメムシ類〕

7月16日発表の「平成26年度病害虫発生予報注意報第2号」を参照してください。

・留意事項

セジロウンカの発生量は少ない状況です。ウンカ類の飛来・生息状況については、本日発表の「ウンカ情報第3号」を参照してください。

ハスモンヨトウのフェロモントラップにおける誘殺数は、やや少なく推移しています。詳細は、本日発表の「ハスモンヨトウ情報第1号（ダイズ）」を参照してください。

果樹

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	黒点病	やや少ない	県全域	せん定枝の胞子形成量（5月）はやや少ない 8月の降水量は平年並	－ ±
	ミカンハダニ	少ない	県全域	7月下旬の発生量は少ない	－
	チャノキイロアザミウマ	平年並	県全域	7月下旬のイヌマキにおける発生量は平年並 粘着トラップにおける誘殺数は平年並	± ±
ナシ	うどんこ病	やや多い	県全域	7月下旬の発生量はやや多い	+
	ハダニ類	多い	県全域	7月下旬の発生量は多い	+
	ナシヒメシンクイ	やや少ない	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	－
モモ	せん孔細菌病	平年並	県全域	7月下旬の発生量は平年並 8月の降水量は平年並	± ±
	モモハモグリガ	少ない	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は少ない 7月下旬の被害葉率は低い	－ －
カキ	うどんこ病	やや少ない	県全域	7月下旬の発生量はやや少ない	－
	カキノヘタムシガ	平年並	県全域	第1世代幼虫による被害果率は平年並	±
	コナカイガラムシ類	やや多い	県全域	7月下旬の発生量はやや多い	+
果樹共通	カメムシ類	やや多い	県全域	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はやや多い 7月中旬のヒノキにおける寄生頭数はやや多い スギ、ヒノキ球果量はやや少ない	＋ ＋ ＋

・防除対策

〔ナシ・うどんこ病〕

収穫前日数に注意して、ナリアWDG、ベルコートフロアブルなどで防除しましょう。

〔ナシ・ハダニ類〕

収穫前日数に注意して、コロマイト乳剤、マイトコーネフロアブルなどで防除しましょう。

〔カキ・コナカイガラムシ類〕

コルト顆粒水和剤（フジコナカイガラムシ）、モスピラン顆粒水溶剤などで防除しましょう。なお、コナカイガラムシ類は薬液がかかりにくいへた裏部分に主に生息しているので、薬剤散布する場合は、散布量を増やして薬液が十分付着するようにしましょう。

〔果樹共通・カメムシ類〕

7月24日発表の「果樹カメムシ類情報第4号」を参照してください。

・留意事項

ウンシュウミカンでは、チャノキイロアザミウマの有効積算温度から計算した成虫発生ピーク時期は、前年並と予測します。詳細は、本日発表の「チャノキイロアザミウマ情報第4号」を参照してください。

モモでは、ハダニ類の発生がやや多くなっています。早期落葉を防ぐために収穫後に防除を行いましょう。

野菜

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キャベツ	オオタバコガ	多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は多い	+
	シロイチモジヨトウ	多い	東三河地域	フェロモントラップにおける誘殺数は多い	+
野菜共通	ハスモンヨトウ	やや少ない	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない	-

・防除対策

〔キャベツ・オオタバコガ、シロイチモジヨトウ〕

育苗時には防虫ネットなどを設置して成虫の侵入を防ぐとともに、オオタバコガはプレオフロアブル、アニキ乳剤などで、シロイチモジヨトウはゼンターリ顆粒水和剤などで防除しましょう。

・留意事項

キャベツのハイマダラノメイガやコナガは、今後、発生に好適な気象条件が見込まれるため、発生量が多くなると予測します。育苗時には防虫ネットなどを設置して、成虫の侵入を防ぐとともに、プリンス粒剤やアフーム乳剤などで防除を徹底しましょう。

トマトでは、コナジラミ類の発生が増加する時期です。コナジラミ類が媒介するトマト黄化葉巻病（病原ウイルス：TYLCV）の感染を防ぐため、育苗時、定植時にはコナジラミ類が寄生していないか確かめるとともに、タバココナジラミに効果のある粒剤を施用しましょう。また、侵入防止対策として、施設開口部に防虫ネット（目合 0.4mm以下）を設置しましょう。

花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報へ の影響
キク (露地)	オオタバコガ	多い	県全域	フェロモントラップにおける誘殺数は多い	+
	アザミウマ類	平年並	県全域	7月下旬の発生量は平年並	±

・防除対策

[キク (露地) ・ オオタバコガ]

7月16日発表の「平成26年度病害虫発生予報注意報第3号」を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報 (名古屋地方気象台7月31日発表)

〈予想される向こう1か月の天候〉

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並の確率50%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

〈向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率〉

[気温] 低い : 20% 平年並 : 40% 高い : 40%

[降水量] 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

[日照時間] 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

農薬危害防止運動実施中 (6月1日から8月31日まで)

今年度の重点事項は次の3つです。

- 1 農薬ラベルの十分な確認
- 2 農薬の飛散防止
- 3 農薬の盗難・紛失等の防止